

報道関係者各位

記者会見資料

◆トピックス

項目	問い合わせ (電話番号)	資料 番号
令和8年度湯沢市一般会計・特別会計予算について	財政課 0183-73-2114	1
令和8年度湯沢市水道事業会計・下水道事業会計予算について	上下水道課 0183-55-8219	2

次回の定例記者会見は、令和8年2月17日(火) 午前11時、本庁舎3階 庁議室で開催します。
問い合わせ／情報政策課 元気・魅力発信班 電話：0183-56-8387 FAX：0183-73-2117

令和８年度湯沢市一般会計・特別会計予算について

令和８年度の予算案につきましては、「第２次湯沢市総合振興計画」後期基本計画をはじめ、本市の重要課題である人口減少の抑制と人口減少に対応した持続可能な地域づくりの実現に向けまして、「第３期湯沢市総合戦略」に掲げる取組を着実に推進することを基本方針として編成しております。

一般会計の歳入予算につきましては、経済活動の回復基調が続く中で、賃上げや米価の上昇などに伴う課税所得の増加によって、市税収入は今年度当初予算を上回る見込みであります。また、地方交付税につきましては、国では今年度当初予算を上回る規模の交付を予定していることから、近年の交付実績も踏まえた予算を計上しております。

歳出予算につきましては、緊急性や重要性の高い施策を中心としつつ、「子ども・子育て支援や若者支援」、「にぎわいの創出と生きがい活動の充実」、「雇用の創出と産業基盤の強化」など、主要施策を推進する予算を計上しております。

- 1 令和８年度当初予算の規模 ※カッコ内は今年度当初予算との比較
 - ・一般会計 32,590,000千円（+2,039,000千円、+6.7%）
 - ・特別会計 11,896,703千円（△14,055千円、△0.1%）
 - ・合計 44,486,703千円（+2,024,945千円、+4.8%）
- 2 一般会計歳入の概要 ※カッコ内は今年度当初予算との比較
 - ・市税 4,284,776千円（+32,117千円、+0.8%）
 - ・地方交付税 11,400,000千円（+500,000千円、+4.6%）
 - ・国庫支出金 4,795,250千円（+501,650千円、+11.7%）
 - ・県支出金 2,144,328千円（△139,323千円、△6.1%）
 - ・繰入金 3,233,260千円（+413,016千円、+14.6%）
 - ・市債 2,970,500千円（+1,110,900千円、+59.7%）
- 3 一般会計歳出の概要
 - <子ども・子育て支援や若者支援>
 - ・不妊症・不育症治療費助成 3,175 千円
 - <にぎわいの創出と生きがい活動の充実>
 - ・湯沢駅周辺複合施設等整備事業 3,539,877 千円

<雇用の創出と産業基盤の強化>

・雇用創出対策事業 17,560 千円

<持続可能なまちづくりの推進>

・新たなオンデマンド交通運行計画策定業務 6,422 千円

<安全安心な暮らしの確保>

・消防団員活動支援 47,900 千円

各 会 計 予 算 総 括 表

(単位：千円・％)

区 分		本年度 予算額 A	前 年 度		比 較			
			当初予算額 (骨格予算) B	6月補正後 (肉付予算) C	増 減 額		増 減 率	
					当 初 (A-B) D	6月補正後 (A-C) E	当 初 D/B	6月補正後 E/C
一 般 会 計		32,590,000	30,551,000	31,382,657	2,039,000	1,207,343	6.7	3.8
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	4,499,336	4,460,965	4,449,203	38,371	50,133	0.9	1.1
	後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	835,856	672,888	672,776	162,968	163,080	24.2	24.2
	介 護 保 険 特 別 会 計	5,784,190	6,055,707	6,055,977	△ 271,517	△ 271,787	△ 4.5	△ 4.5
	養 護 老 人 ホ ー ム 愛 宕 荘 特 別 会 計	336,585	314,852	318,205	21,733	18,380	6.9	5.8
	皆 瀬 更 生 園 特 別 会 計	345,913	327,815	334,519	18,098	11,394	5.5	3.4
	湯 沢 財 産 区 特 別 会 計	32,218	29,830	29,830	2,388	2,388	8.0	8.0
	院 内 財 産 区 特 別 会 計	48,421	34,705	34,705	13,716	13,716	39.5	39.5
	秋 ノ 宮 財 産 区 特 別 会 計	14,184	13,996	13,996	188	188	1.3	1.3
	小 計	11,896,703	11,910,758	11,909,211	△ 14,055	△ 12,508	△ 0.1	△ 0.1
合 計		44,486,703	42,461,758	43,291,868	2,024,945	1,194,835	4.8	2.8

一 般 会 計 款 別 予 算 総 括 表

(歳 入)

(単位：千円・％)

区 分	本 年 度		前 年 度				比 較			
	予算額 A	Aの 構成比	当初予算額 (骨格予算) B	Bの 構成比	6月補正後 (肉付予算) C	Cの 構成比	増 減 額		増 減 率	
							当 初 (A-B) D	6月補正後 (A-C) E	当 初 D/B	6月補正後 E/C
1 市 税	4,284,776	13.1	4,252,659	13.9	4,252,659	13.6	32,117	32,117	0.8	0.8
2 地 方 譲 与 税	351,790	1.1	304,426	1.0	304,426	1.0	47,364	47,364	15.6	15.6
3 利 子 割 交 付 金	17,169	0.1	2,340	0.0	2,340	0.0	14,829	14,829	633.7	633.7
4 配 当 割 交 付 金	15,898	0.1	11,641	0.0	11,641	0.0	4,257	4,257	36.6	36.6
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	25,026	0.1	18,578	0.1	18,578	0.1	6,448	6,448	34.7	34.7
6 法 人 事 業 税 交 付 金	71,038	0.2	77,501	0.2	77,501	0.2	△ 6,463	△ 6,463	△ 8.3	△ 8.3
7 地 方 消 費 税 交 付 金	1,213,669	3.7	1,178,738	3.8	1,178,738	3.8	34,931	34,931	3.0	3.0
8 環 境 性 能 割 交 付 金	3,230	0.0	22,004	0.1	22,004	0.1	△ 18,774	△ 18,774	△ 85.3	△ 85.3
9 地 方 特 例 交 付 金	21,907	0.1	23,757	0.1	23,757	0.1	△ 1,850	△ 1,850	△ 7.8	△ 7.8
10 地 方 交 付 税	11,400,000	35.0	10,900,000	35.7	10,900,000	34.7	500,000	500,000	4.6	4.6
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	3,297	0.0	3,711	0.0	3,711	0.0	△ 414	△ 414	△ 11.2	△ 11.2
12 分 担 金 及 び 負 担 金	19,927	0.1	25,107	0.1	23,018	0.1	△ 5,180	△ 3,091	△ 20.6	△ 13.4
13 使 用 料 及 び 手 数 料	205,581	0.6	214,076	0.7	214,076	0.7	△ 8,495	△ 8,495	△ 4.0	△ 4.0
14 国 庫 支 出 金	4,795,250	14.7	4,293,600	14.1	4,407,775	14.0	501,650	387,475	11.7	8.8
15 県 支 出 金	2,144,328	6.6	2,283,651	7.5	2,299,946	7.3	△ 139,323	△ 155,618	△ 6.1	△ 6.8
16 財 産 収 入	47,550	0.1	381,162	1.2	381,162	1.2	△ 333,612	△ 333,612	△ 87.5	△ 87.5
17 寄 附 金	763,002	2.3	693,001	2.3	693,001	2.2	70,001	70,001	10.1	10.1
18 繰 入 金	3,233,260	9.9	2,820,244	9.2	3,049,220	9.7	413,016	184,040	14.6	6.0
19 繰 越 金	300,000	0.9	300,000	1.0	300,000	1.0	0	0	0.0	0.0
20 諸 収 入	702,802	2.2	885,204	2.9	890,604	2.8	△ 182,402	△ 187,802	△ 20.6	△ 21.1
21 市 債	2,970,500	9.1	1,859,600	6.1	2,328,500	7.4	1,110,900	642,000	59.7	27.6
歳 入 合 計	32,590,000	100.0	30,551,000	100.0	31,382,657	100.0	2,039,000	1,207,343	6.7	3.8

(歳 出)

(単位：千円・%)

区 分	本 年 度		前 年 度				比 較			
	予算額 A	Aの 構成比	当初予算額 (骨格予算) B	Bの 構成比	6月補正後 (肉付予算) C	Cの 構成比	増 減 額		増 減 率	
							当 初 (A-B) D	6月補正後 (A-C) E	当 初 D/B	6月補正後 E/C
1 議 会 費	200,734	0.6	189,350	0.6	193,715	0.6	11,384	7,019	6.0	3.6
2 総 務 費	7,675,312	23.5	5,783,626	18.9	6,010,623	19.1	1,891,686	1,664,689	32.7	27.7
3 民 生 費	8,617,210	26.4	8,456,770	27.7	8,466,131	27.0	160,440	151,079	1.9	1.8
4 衛 生 費	3,712,934	11.4	3,541,149	11.6	3,535,858	11.3	171,785	177,076	4.9	5.0
5 労 働 費	40,740	0.1	95,848	0.3	100,483	0.3	△ 55,108	△ 59,743	△ 57.5	△ 59.5
6 農林水産業費	1,191,594	3.7	1,283,607	4.2	1,317,548	4.2	△ 92,013	△ 125,954	△ 7.2	△ 9.6
7 商 工 費	968,614	3.0	1,187,491	3.9	1,270,499	4.0	△ 218,877	△ 301,885	△ 18.4	△ 23.8
8 土 木 費	2,462,612	7.6	2,261,490	7.4	2,605,782	8.3	201,122	△ 143,170	8.9	△ 5.5
9 消 防 費	1,342,476	4.1	1,302,997	4.3	1,307,837	4.2	39,479	34,639	3.0	2.6
10 教 育 費	2,602,969	8.0	2,657,777	8.7	2,783,286	8.9	△ 54,808	△ 180,317	△ 2.1	△ 6.5
11 災 害 復 旧 費	2,628	0.0	2,628	0.0	2,628	0.0	0	0	0.0	0.0
12 公 債 費	2,905,576	8.9	2,902,089	9.5	2,902,089	9.2	3,487	3,487	0.1	0.1
13 諸 支 出 金	846,601	2.6	866,178	2.8	866,178	2.8	△ 19,577	△ 19,577	△ 2.3	△ 2.3
14 予 備 費	20,000	0.1	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0	0.0	0.0
歳 出 合 計	32,590,000	100.0	30,551,000	100.0	31,382,657	100.0	2,039,000	1,207,343	6.7	3.8

一般会計性質別分類表

(歳入)

(単位:千円・%)

区 分	本年度		前年度		比 較	
	予算額 A	Aの 構成比	当初予算額 B	Bの 構成比	(A-B) C	C/B
市税	4,284,776	13.1	4,252,659	13.9	32,117	0.8
地方譲与税	351,790	1.1	304,426	1.0	47,364	15.6
利子割交付金	17,169	0.1	2,340	0.0	14,829	633.7
配当割交付金	15,898	0.0	11,641	0.0	4,257	36.6
法人事業税交付金	71,038	0.2	77,501	0.2	6,463	8.3
株式等譲渡所得割交付金	25,026	0.1	18,578	0.1	6,448	34.7
地方消費税交付金	1,213,669	3.7	1,178,738	3.9	34,931	3.0
環境性能割交付金	3,230	0.0	22,004	0.1	18,774	85.3
地方特例交付金	21,907	0.1	23,757	0.1	1,850	7.8
地方交付税	11,400,000	35.0	10,900,000	35.7	500,000	4.6
普通交付税	9,900,000	30.4	9,500,000	31.1	400,000	4.2
特別交付税	1,500,000	4.6	1,400,000	4.6	100,000	7.1
交通安全対策特別交付金	3,297	0.1	3,711	0.0	414	11.2
分担金及び負担金	84,497	0.3	89,897	0.3	5,400	6.0
使用料及び手数料	205,581	0.6	214,076	0.7	8,495	4.0
国庫支出金	4,795,250	14.7	4,293,600	14.0	501,650	11.7
県支出金	2,144,328	6.6	2,283,651	7.5	139,323	6.1
財産収入	51,845	0.2	385,236	1.2	333,391	86.5
寄附金	763,002	2.3	693,001	2.3	70,001	10.1
繰入金	3,233,260	9.9	2,820,244	9.2	413,016	14.6
繰越金	300,000	0.9	300,000	1.0	0	0.0
諸収入	633,937	1.9	816,340	2.7	182,403	22.3
市債	2,970,500	9.1	1,859,600	6.1	1,110,900	59.7
歳入合計	32,590,000	100.0	30,551,000	100.0	2,039,000	6.7

区 分	本年度		前年度		比 較	
	予算額 A	Aの 構成比	当初予算額 B	Bの 構成比	(A-B) C	C/B
自主財源 1	9,556,898	29.3	9,571,453	31.3	14,555	0.2
依存財源 2	23,033,102	70.7	20,979,547	68.7	2,053,555	9.8
合 計	32,590,000	100.0	30,551,000	100.0	2,039,000	6.7

1「市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入」の合計

2「地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、法人事業税交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金、国庫支出金、県支出金、市債」の合計

(歳出)

(単位 : 千円 ・ %)

区 分	本年度		前年度		比 較	
	予算額 A	Aの 構成比	当初予算額 B	Bの 構成比	(A-B) C	C/B
人件費	4,218,418	12.9	4,064,246	13.3	154,172	3.8
物件費	4,677,772	14.4	4,493,201	14.7	184,571	4.1
扶助費	5,096,766	15.6	5,010,926	16.4	85,840	1.7
補助費等	5,548,650	17.0	5,448,859	17.8	99,791	1.8
補助費 一組へ 1	2,627,934	8.0	2,474,547	8.1	153,387	6.2
補助費 その他	2,920,716	9.0	2,974,312	9.7	53,596	1.8
維持補修費	1,091,297	3.3	1,097,820	3.6	6,523	0.6
投資的経費	5,234,195	16.1	3,717,139	12.2	1,517,056	40.8
普通建設事業費	5,232,567	16.1	3,715,511	12.2	1,517,056	40.8
災害復旧費	1,628	0.0	1,628	0.0	0	0.0
貸付金	408,300	1.3	408,300	1.3	0	0.0
投資、出資金	489,400	1.5	526,843	1.7	37,443	7.1
積立金	844,576	2.6	865,426	2.8	20,850	2.4
繰出金	2,215,074	6.8	2,163,352	7.1	51,722	2.4
公債費	2,745,552	8.4	2,734,888	9.0	10,664	0.4
予備費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
歳出合計	32,590,000	100.0	30,551,000	100.0	2,039,000	6.7

1 広域市町村圏組合に対する負担金。

(再掲)

区 分	本年度		前年度		比 較	
	予算額 A	Aの 構成比	当初予算額 B	Bの 構成比	(A-B) C	C/B
義務的経費 合計	12,060,736	36.9	11,810,060	38.7	250,676	2.1
人件費	4,218,418	12.9	4,064,246	13.3	154,172	3.8
扶助費	5,096,766	15.6	5,010,926	16.4	85,840	1.7
公債費	2,745,552	8.4	2,734,888	9.0	10,664	0.4

一般会計 主な歳入

(単位：千円・%)

区 分	予 算 額	主 な 歳 入	本年度 予算額 A	前年度 予算額(当初) B	比 較	
					増減額 (A-B)C	増減率 C/B
市 税	4,284,776	市民税(個人)	1,417,505	1,318,590	98,915	7.5
		市民税(法人)	234,564	227,704	6,860	3.0
		固定資産税	2,128,920	2,205,120	76,200	3.5
		軽自動車税	185,665	182,910	2,755	1.5
		市町村たばこ税	290,403	291,349	946	0.3
		入湯税	27,719	26,986	733	2.7
地方譲与税	351,790	地方揮発油譲与税	62,547	51,277	11,270	22.0
		自動車重量譲与税	189,055	150,269	38,786	25.8
		森林環境譲与税	100,188	102,880	2,692	2.6
地方消費税 交 付 金	1,213,669	地方消費税交付金	1,213,669	1,178,738	34,931	3.0
地方交付税	11,400,000	普通交付税	9,900,000	9,500,000	400,000	4.2
		特別交付税	1,500,000	1,400,000	100,000	7.1
分担金及び 負 担 金	19,927	老人福祉施設入所者等負担金	18,711	20,312	1,601	7.9
使用料及び 手 数 料	205,581	診療所使用料(皆瀬診療所)	41,012	48,552	7,540	15.5
		住宅使用料	46,489	45,072	1,417	3.1
		戸籍手数料	8,158	10,575	2,417	22.9
国庫支出金	4,795,250	空き家対策総合支援事業補助金	102,676	3,100	99,576	3,212.1
		地域未来交付金	40,085	0	40,085	皆増
		電源立地地域対策交付金	140,000	210,000	70,000	33.3
		社会資本整備総合交付金	127,000	267,178	140,178	52.5
		道路メンテナンス事業補助金	129,492	62,947	66,545	105.7
		都市構造再編集集中支援事業補助金	1,362,668	869,262	493,406	56.8
県 支 出 金	2,144,328	自立支援給付費負担金	468,999	427,930	41,069	9.6
		保険基盤安定負担金(後期高齢者医療分)	188,376	154,051	34,325	22.3
		森林環境保全整備事業費補助金	28,963	66,117	37,154	56.2
		合板・製材生産性強化対策事業費補助金	24,784	0	24,784	皆増
		中山間地域等直接支払交付金	116,135	135,466	19,331	14.3
		地籍調査費補助金	29,100	0	29,100	皆増
寄 附 金	763,002	ふるさと輝き寄附金	763,000	693,000	70,000	10.1
繰 入 金	3,233,260	財政調整基金繰入金	1,800,000	1,000,000	800,000	80.0
		減債基金繰入金	500,000	650,000	150,000	23.1
		ふるさと輝き基金繰入金	693,320	760,232	66,912	8.8
		地域振興基金繰入金	109,530	290,000	180,470	62.2
市 債	2,970,500	過疎対策事業債	2,779,900	1,768,700	1,011,200	57.2
		緊急自然災害防止対策事業債	61,500	0	61,500	皆増
		辺地対策事業債	38,900	0	38,900	皆増

基金の状況

(単位：千円)

		6 年度末 現在高 A	令和 7 年度 増減額 (3 月補正後)		7 年度末 現在高 (見込み) (A+B-C) D	令和 8 年度 増減額 (当初予算)		8 年度末 現在高 (見込み) (D+E-F) G
			積立額 (受) B	取崩額 (払) C		積立額 (受) E	取崩額 (払) F	
財 政 調 整 基 金		4,369,262	400,658	476,042	4,293,878	16,462	1,800,000	2,510,340
減 債 基 金		2,095,013	5,969	450,000	1,650,982	5,293	500,000	1,156,275
特定目的	庁舎建設基金	330	0	0	330	0	0	330
	地域振興基金	393,327	4,503	290,000	107,830	1,700	109,530	0
	ふるさと輝き基金	813,765	695,206	761,696	747,275	763,135	693,320	817,090
	チャレンジ基金	21,647	45	3,200	18,492	45	4,200	14,337
	学校教育施設整備基金	190	313	0	503	285	313	475
	公共施設解体基金	335,122	151,691	66,461	420,352	51,281	50,312	421,321
	森林環境譲与税基金	53,715	19,576	0	73,291	6,375	0	79,666
	電源立地地域対策事業基金	175,166	531	88,000	87,697	0	47,000	40,697
	小 計	1,793,262	871,865	1,209,357	1,455,770	822,821	904,675	1,373,916
一般会計 計		8,257,537	1,278,492	2,135,399	7,400,630	844,576	3,204,675	5,040,531
国民健康保険事業 財政調整基金		898,420	75,384	1	973,803	41,859	1	1,015,661
介護給付費準備基金		435,921	778	107,655	329,044	1	136,641	192,404
特別会計 計		1,334,341	76,162	107,656	1,302,847	41,860	136,642	1,208,065
合 計		9,591,878	1,354,654	2,243,055	8,703,477	886,436	3,341,317	6,248,596

		6 年度末 現在高 A	令和 7 年度 増減額 (3 月補正後)		7 年度末 現在高 (見込み) (A+B-C) D	令和 8 年度 増減額 (当初予算)		8 年度末 現在高 (見込み) (D+E-F) G
			積立額 (受) B	取崩額 (払) C		積立額 (受) E	取崩額 (払) F	
定額運用	土地開発基金	711,043	1,435	0	712,478	1,125	0	713,603
	奨学金基金	696,034	1,203	0	697,237	900	0	698,137
	合 計	1,407,077	2,638	0	1,409,715	2,025	0	1,411,740



令和8年度（2026年度）

湯沢市 当初予算案 概要



YUZAWA CITY

目次

1. 予算編成の基本的な考え方
2. 予算の概要
3. 主要施策の推進に向けた取組



YUZAWA CITY

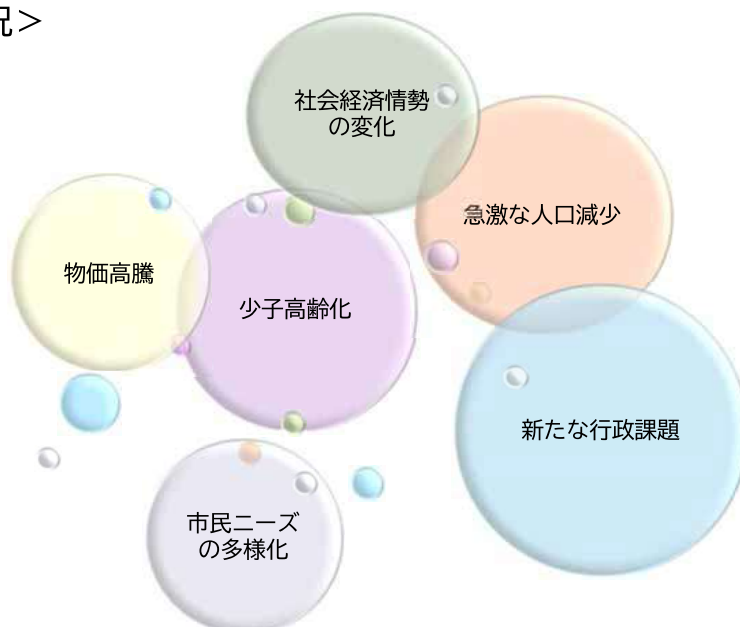
1

予算編成の 基本的な考え方



1. 予算編成の基本的な考え方

<市を取り巻く状況>



「第2次湯沢市総合振興計画」後期基本計画をはじめ、本市の重要課題である人口減少の抑制と人口減少に対応した持続可能な地域づくりの実現に向け、「第3期湯沢市総合戦略」に掲げる取組を着実に推進することを基本方針とします。

また、政策事業を含め、新規又は拡充する事業においては、緊急性や重要性を鑑み、令和8年度に真に実施すべき事業であるか事業選択を徹底します。



1. 予算編成の基本的な考え方

<予算編成における基本方針>

◎「第2次湯沢市総合振興計画」後期基本計画の総仕上げ

後期基本計画の最終年度に当たり、施策を総点検し、必要に応じて見直しして事業を推進します。

◎「第3期湯沢市総合戦略」の推進

重要課題である人口減少の抑制と人口減少に対応した持続可能な地域づくりの実現に向けて、第3期湯沢市総合戦略に掲げる取組を着実に推進します。

◎主要施策の推進に向けた取組

本市の現状を踏まえた喫緊の課題に適切に対応すべく、次の主要施策を推進します。

子ども・子育て支援
や若者支援

にぎわいの創出と
生きがい活動の充実

雇用の創出と
産業基盤の強化

持続可能な
まちづくりの推進

安全安心な
暮らしの確保

◎事業検証と財源の捻出、確保に向けた取組

全ての事業について、常にコスト意識を持ち、必要性や有効性、実績、成果等を十分に検証し、最少の経費で最大の効果が得られる内容か点検するとともに、一般財源はもとより、国や県の支出金等の特定財源の確保に努めます。



2

予算の概要

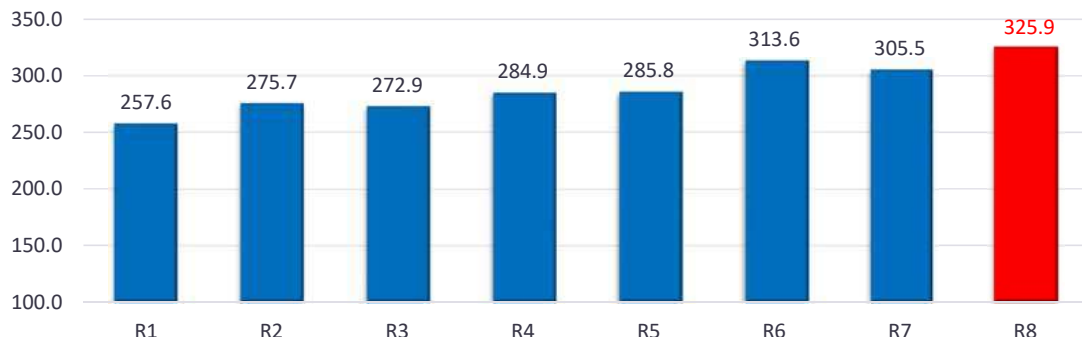


一般会計当初予算の規模

過去最大規模の**325.9**億円（前年度比20.4億円増）▲

一般会計当初予算の推移

（単位：億円）



※R3、R7は市長選挙に伴う骨格予算

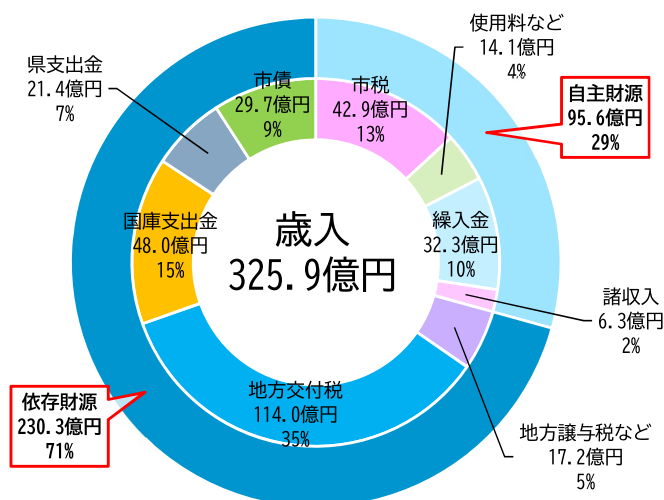
過去最大規模の予算となった主な要因

- ◇複合公共施設の建設に係る経費の増加
- ◇医療の維持確保に係る経費の増加
- ◇地区センター整備に係る経費の増加
- ◇標準化システムへの移行及び運用に係る経費の増加
- ◇複合公共施設の開館、運営に係る経費の増加
- ◇子育て支援や社会保障施策に係る経費の増加
- ◇職員給与の改定に伴う人件費の増加
- ◇物価やエネルギー価格の上昇に伴う経費の増加



一般会計 歳入

歳入の内訳構成比



<歳入の概要>

- ・「使用料など」は保育料無償化による保護者負担金の皆減、成沢工業団地土地売却収入の皆減
- ・「国庫支出金」は複合公共施設整備に係る補助金の増額
- ・「市債」は複合公共施設整備に伴う借入額の増額

歳入の内訳

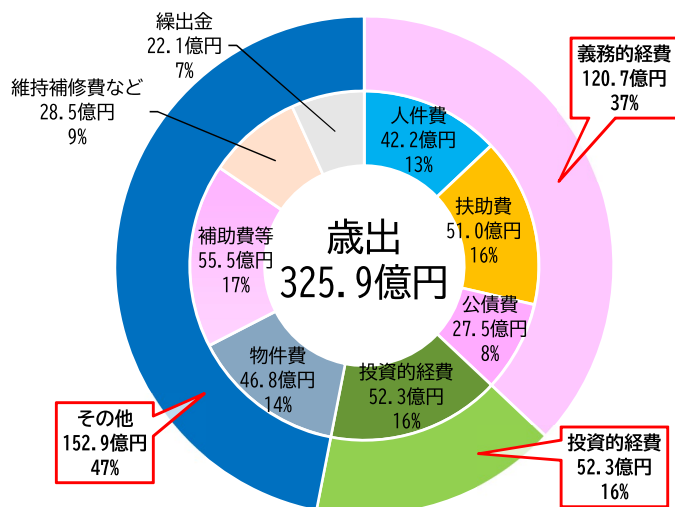
	令和8年度	(前年度比)
市税	42.9億円	(+0.3億円)
使用料など	14.1億円	(▲2.8億円)
繰入金	32.3億円	(+4.2億円)
諸収入	6.3億円	(▲1.8億円)
地方譲与税など	17.2億円	(+0.8億円)
地方交付税	114.0億円	(+5.0億円)
国庫支出金	48.0億円	(+5.0億円)
県支出金	21.4億円	(▲1.4億円)
市債	29.7億円	(+11.1億円)
総計	325.9億円	(+20.4億円)

※使用料など…分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰越金
 ※地方譲与税など…地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、環境性能割交付金、交通安全対策特別交付金



一般会計 歳出

歳出の内訳構成比



歳出の内訳

	令和 8 年度	(前年度比)
人件費	42.2億円	(+1.5億円)
扶助費	51.0億円	(+0.9億円)
公債費	27.5億円	(+0.1億円)
投資的経費	52.3億円	(+15.1億円)
物件費	46.8億円	(+1.9億円)
補助費等	55.5億円	(+1.0億円)
維持補修費など	28.5億円	(▲0.6億円)
繰出金	22.1億円	(+0.5億円)
総計	325.9億円	(+20.4億円)

※維持補修費など…維持補修費、貸付金、投資、出資金、積立金、予備費

<歳出の概要>

- ・「人件費」は職員給与の改定に伴う増額
- ・「投資的経費」は複合公共施設建設等に係る工事等の増額
- ・「物件費」は物価やエネルギー価格の上昇に伴う増額
- ・「補助費等」は地域医療の確保に係る補助金の増額
- ・「扶助費」は保育料無償に係る経費の増額
- ・「繰出金」は秋田県後期高齢者医療広域連合負担金の増額



3

主要施策の推進に向けた取組



3. 主要施策の推進に向けた取組



3. 主要施策の推進に向けた取組

子ども・子育て支援や若者支援

子育てに係る経済的負担の軽減や子育てしやすい環境の整備に取り組み、「子どもも親も笑顔で暮らせるまち」を目指すとともに、出会いや結婚、移住・定住を推進するため、未来をつくる若者を支援します。

予算額【2,551,061千円】

<主な取組>

子育て環境の整備

- ・不妊症、不育症治療費の助成
- ・子育てに関する相談対応等

出産・子育てへの経済的支援

- ・妊産婦、子どもへの医療費の助成
- ・保育料、副食費（おかずやおやつ）、学校給食費の無償化

未来をつくる若者支援

- ・若者世帯住宅取得費用の助成



子育て環境の整備

○不妊症・不育症治療費助成【3,175千円】 **拡充**

経済的負担を感じることなく安心して治療を受けていただくために、
不妊症・不育症の治療にかかる費用を助成します。

4款1項6目
母子保健推進事業
(子ども未来課)

補 助 額

特 定 不 妊 治 療	治療費：一連の治療1回につき上限 30万円 交通費：通院1回につき 2千円
一 般 不 妊 治 療	年間上限 30万円
不 育 治 療	年間上限 30万円

一般不妊治療と特定不妊治療の補助上限額を
15万円から**30万円に増額**

さらに特定不妊治療の
治療にかかる**交通費を新たに助成**

3款2項4目
重層的支援体制整備事業
こども家庭センターほか
(子ども未来課)

○子育てに関する相談対応等【20,737千円】

こども家庭センターでは、妊娠・出産・子育て期にわたり、妊産婦や乳幼児の状況を継続的・包括的に把握し、子育てに関する様々な悩み等に円滑に対応します。必要な支援の調整や関係機関との連絡調整を行う切れ目ない支援を行います。



出産・子育てへの経済的支援

○妊産婦・子どもへの医療費助成【166,257千円】

「産む前も」「産んでからも」安心して子育てができるよう、
医療保険が適用される医療費の自己負担分を全額助成します。

3款1項4目
福祉医療給付費
(市民課)



助成期間

妊産婦	母子保健手帳が交付された月の初日から 出産予定日の1年後の月末まで
子ども	18歳到達の年度末まで



○保育料の無償化※【保護者の負担が軽減される分 136,941千円】 (うち、市負担分 52,290千円)

3款2項4目
施設型給付費ほか
(子ども未来課)

保護者の所得や子どもの年齢などにかかわらず**全ての子ども**の保育料を**無償**とします。

○副食費の無償化※【保護者の負担が軽減される分 26,578千円】 (うち、市負担分 12,008千円)

3款2項4目
子ども・子育て支援事業
(子ども未来課)

3歳から5歳までの**全ての子ども**の副食費を**無償**とします。

※ 国、県の助成対象外部分に対して市が助成

○学校給食費の無償化

10款5項3目
学校給食センター経費(学校給食センター)

〈湯沢市立小中学校に通学している児童生徒〉
免除する学校給食費の総額【109,732千円】

〈市外や県立の学校に通学している児童生徒
・食物アレルギーで弁当を持参している児童生徒〉
補助する給食費相当額の総額【3,568千円】



未来をつくる若者支援

○若者世帯住宅取得費用補助金【25,000千円】

2款1項6目
移住・定住促進事業
(まちづくり協働課)

未来を創る若者の市内への定住及び移住を支援するため、住宅取得費用の一部を補助します。

基本額
100万円

+子育て世帯加算 **20万円**
+移住者世帯加算 **20万円**



最大 140万円

要 件

対 象 者		要 件
加 算		1. 申請する時点において、湯沢市に住所がある方で、定住する意思のある方 2. 住宅を取得する契約締結時点において、いずれも39歳以下の若者夫婦で新築住宅の所有者
	子育て世帯	18歳以下の子がいる世帯又は出産予定の方がいる世帯
	移住者世帯	湯沢市に転入する前日まで市外に連続して1年間以上居住し、申請日において転入後1年以内である世帯

3. 主要施策の推進に向けた取組

にぎわい創出・ 生きがい活動の 充実

複合公共施設を核に、趣味や生きがい活動の充実や学習機会を提供するとともににぎわい創出による中心市街地の活性化を図るほか、地域と連携を図り、東北中央自動車道の全線開通を見据え、道の駅おがちの機能強化による地域一体の活性化を目指します。

予算額【3,890,792千円】

<主な取組>

複合公共施設（Yuinas）を核とする中心市街地の活性化

- ・湯沢駅周辺複合施設等整備事業
- ・複合公共施設管理運営費
- ・湯沢生涯学習センター等跡地活用事業



道の駅おがちの機能強化による地域一体の活性化

- ・道の駅おがちリニューアルに向けた取組
- ・道の駅おがち管理運営費



3. 主要施策の推進に向けた取組

にぎわい

複合公共施設（Yuinas）を核とする中心市街地の活性化

まちの魅力や回遊性、利便性等を高め、湯沢駅前を起点とした“まちなか全体の活性化”を図ります。

○湯沢駅周辺複合施設等整備【3,539,877千円】

2款1項6目
湯沢駅周辺複合施設等
整備事業（企画課）



令和8年11月下旬
オープン予定

○湯沢生涯学習センター等の跡地活用【61,461千円】

新規

◆多目的広場等の整備に係る実施設計及び地質調査

2款1項6目
湯沢生涯学習センター等
跡地活用事業（企画課）



○複合公共施設管理運営費【190,570千円】

新規

10款4項1目
複合公共施設管理運営費
(生涯学習課)

道の駅おがちの機能強化による地域一体の活性化

○道の駅おがちリニューアルに向けた取組【5,436千円】

7款1項4目
道の駅おがち周辺整備事業
(観光・ジオパーク推進課)

東北中央自動車道の全線開通を見据え、道の駅おがちのリニューアルを実施し、道の駅の機能強化・利便性向上による来訪者の増加、観光交流人口の拡大及び地域全体の活性化を図ります。



- ◆外部専門家による構想への指導助言
- ◆民間活力導入可能性調査
- ◆リニューアル計画の策定
- ◆リニューアル検討市民会議の開催



令和7年度実施
道の駅おがちのリニューアルに向けた
高校生ワークショップの様子



3. 主要施策の推進に向けた取組

雇用の創出・ 産業基盤強化

企業誘致の推進による雇用創出や新たな産業団地の整備のほか、農林業や地場産業の振興を図り、産業基盤を強化します。
また、多様な媒体を活用した国内外への情報発信や観光プロモーションに取り組み、インバウンドを含めた観光誘客を促進します。

予算額【1,833,141千円】

<主な取組>

ふるさと企業への支援と雇用創出

- ・雇用創出対策事業
- ・企業誘致対策事業

地域資源を活用した農林業の振興

- ・市有林森林整備事業
- ・湯沢産米生産販売推進事業

有害鳥獣による農作物等への被害対策

- ・有害鳥獣対策事業
- ・水と緑の森づくり（緩衝帯等整備）事業



3. 主要施策の推進に向けた取組

産業振興

ふるさと企業への支援と雇用創出

○ふるさと企業への支援【12,095千円】

市内の中小企業者、小規模企業者が行う**設備投資、技術の継承を支援**することにより、**持続的発展による地域雇用の安定**を図ります。

5款1項1目
雇用創出対策事業
(商工課)

項 目	補助対象経費
ふるさと企業 基幹技術継承支援 補助金	基幹技術者（ふるさと企業の事業継続に欠くことのできない製造技術を有する者）の給与
ふるさと企業振興 補助金	設備投資事業、省エネルギー設備導入事業、 自家消費型発電設備等導入事業、操業環境整備事業、 立地環境整備事業、資格取得支援事業に係る経費



○IT人材育成業務委託【5,465千円】

市内に住み続けながら、**多様なライフスタイルに対応する働き方を推進**するため、IT人材を育成します。

○企業誘致対策事業【2,571千円】

県と連携した**企業誘致活動を推進**するとともに、企業誘致の受け皿とするため、新たな産業団地の整備を進めます。

5款1項1目
企業誘致対策事業
(商工課)



地域資源を活用した農林業の振興

○J-クレジット創出事業【18,813千円】

2 款 1 項 5 目
市有林森林整備事業
(農林課)

<J-クレジット制度とは>

適切な森林管理等によるCO₂吸収量を国が「クレジット」として認証し、売買できる制度です。創出された「クレジット」は、CO₂を排出する企業等へ売却（カーボンオフセット）することができ、経済と環境の好循環を生み出し、企業等の脱炭素化を後押しします。

◆航空写真による森林状況把握、資源解析

◆審査機関による検証業務



○酒造好適米生産振興対策補助金【4,875千円】

6 款 1 項 3 目
湯沢産米生産販売推進事業
(農林課)

現状の米を取り巻く目まぐるしい情勢の変化を踏まえ、県内随一の酒米生産量と品質を誇る「酒米の里・ゆざわ」として、生産者の生産意欲の高揚を図るため、酒造好適米の種子購入費の一部に対して補助します。（作付面積10アール当たり4kgまで）



有害鳥獣による農作物等への被害対策

○有害鳥獣被害対策【17,551千円】

6 款 1 項 3 目
有害鳥獣対策事業
(農林課)

有害鳥獣出没の抑制

○鳥獣被害防止対策事業費補助金

出荷販売する農作物や作業中の農業者への被害防止のための電気柵設置に必要な資材購入に係る費用を助成します。（1/2助成）

○ツキノワグマ誘引樹木伐採事業費補助金

クマを誘引する樹木の伐採及び処分に係る費用を助成します。（1/2助成 上限5万円）

有害鳥獣出没への対応

○鳥獣被害対策実施隊員報酬

1人当たり年額12,000円に加え、市の要請に基づき緊急出動した際に出務報酬を支給します。

○有害鳥獣被害防止対策協議会負担金等

機能強化のため猟友会へ助成金や捕獲活動（檻の設置、撤去、巡回、有害捕獲）に対して交付金を支給します。

有害捕獲功労金を増額
ツキノワグマ1頭につき3,000円→1万円

拡充

○緩衝帯整備【27,366千円】

6 款 2 項 2 目
水と緑の森づくり
(緩衝帯等整備) 事業
(農林課)

クマ等の野生動物との棲み分けを図るための緩衝帯整備等の森林整備を実施します。



3. 主要施策の推進に向けた取組

持続可能な まちづくりの推進

共助による高齢者支援や移動手段の確保、地域づくり活動への支援等、活力ある地域づくりへの取り組みのほか、デジタル技術を活用した地域課題の解決や市民サービスの向上により、人口減少に対応した持続可能なまちづくりを推進します。

予算額【683,152千円】

<主な取組>

地域の実情に即した移動手段の確保

- ・地域公共交通活性化事業

地域づくり活動の拠点整備

- ・地区センター整備事業

地域づくり活動への支援

- ・地域自治組織支援事業



3. 主要施策の推進に向けた取組

まちづくり

地域の実情に即した移動手段の確保

○新たなオンデマンド交通運行計画策定【6,422千円】 **新規**

地域の特性や利用者のニーズに応じた持続可能な公共交通体系の確立を目指し、国が示す地域公共交通の「リ・デザイン（再構築）」に沿った、効率化と利便性向上を実現する新たなオンデマンド交通の導入に向けた運行計画の策定を行います。

2款1項11目
地域公共交通活性化事業
(企画課)

〈オンデマンド交通とは〉

経路や運行時刻が定められている一般的な路線バスと異なり、経路・乗降地点・時刻のいずれか、あるいは、全てに柔軟性を持たせることで、利用者の要求に応じて運行する乗合型の公共交通サービス形態です。複数の利用者との乗合になるため、効率のよい地域の移動手段となることが期待されます。



○公用車カーシェアリングの実施【1,168千円】

車両1台を平日は公用車、休日は地域住民や観光客が二次交通にシェアリング活用する「カーシェアリング」を実施します。



地域づくり活動の拠点整備

○地区センターの整備【251,142千円】

地域づくりの活動拠点である地区センターの機能の充実を図るため、公共施設再編計画に基づき整備を進めます。

2 款 1 項 9 目
地区センター整備事業
(稲川総合支所)
(雄勝総合支所)

- ◆旧駒形小学校の一部を改修し、駒形地区センターとして活用します。
(R8年度は改修工事・備品購入を実施)【183,275千円】
- ◆旧稲庭小学校を改修し、現在の稲庭地区センターを移転します。
(R8年度は改修工事实施設計、アスベスト調査を実施)【12,234千円】
- ◆院内地区センターを新築します。
(R8年度は新築工事实施設計を実施)【20,287千円】

新規



新院内地区センター新築イメージ



駒形地区センターとして活用を予定している旧駒形小校舎



地域づくり活動への支援

○地域協議会に対する支援【500千円】

各地区組織における課題の共有や地域間交流を推進するため、自治組織連絡協議会や地域協議会が実施する事業に対して交付金を交付します。

2 款 1 項 9 目
地域自治組織支援事業
(まちづくり協働課)
(稲川総合支所)
(雄勝総合支所)
(皆瀬総合支所)

○地域づくり事業に対する支援【46,748千円】

各地区組織を構成する町内会等の世帯数・実施事業数及び地区組織がまちづくり計画に基づき実施する地域づくり活動に対して交付金を交付します。

基礎分	加算分	地区組織活動分	活動推進分	湯沢地区事務加算分
町内会等の世帯数に応じた交付金	町内会等が実施する事業	地区組織が実施する事業	地区組織が実施する地区の特色を活かした事業	湯沢市区の地区組織を運営するための事務負担経費
	重点事業 通常事業	上限30万円	上限30万円	一律10万円

重点事業	①高齢者等支援（ごみ出し又は除排雪）②空き家・空き地環境整備 ③デジタル活用 ④町内会運営力アップ
通常事業	①環境美化事業 ②空き家対策事業 ③害虫駆除事業 ④交通安全・防犯事業 ⑤高齢者等支援事業 ⑥子ども支援事業 ⑦伝統文化継承事業 ⑧住民交流事業

新メニュー：④町内会運営力アップ

町内会活動を継続するために実施する地域ビジネスや、町内会運営強化に関する「話し合いの促進」を支援します



3. 主要施策の推進に向けた取組

安全安心な 暮らしの確保

大雨や豪雪、地震等の災害に対して迅速に対応できる防災力の強化を図るとともに、医療機関との連携により医療の維持、充実を図り、安全安心な暮らしの確保に努める。

予算額【1,287,180千円】

<主な取組>

防災力の強化による安全な暮らしの確保

- ・消防団員報酬・装備品費
- ・防災広報費

医療提供体制機能の確保・維持

- ・地域医療確保対策事業
- ・産科医等確保支援事業



3. 主要施策の推進に向けた取組

安全安心

防災力の強化による安全な暮らしの確保

○消防団員の報酬【47,900千円】 **拡充**

9款1項2目
消防団員報酬・装備品費
(総務課)

地域に密着した防災力の中心的な役割を担う消防団の安定した活動を支援するため、消防団員報酬を改定します。

	<改定前>	<改定案>		<改定前>	<改定案>
◆団長	75,000円	85,000円	◆部長	30,000円	40,000円
◆副団長	60,000円	70,000円	◆班長	25,000円	38,000円
◆分団長	45,000円	55,000円	◆団員	22,000円	36,500円
◆副分団長	35,000円	45,000円	◆機能別団員	5,000円	12,000円

○防災マップ作成【6,036千円】 **新規**

9款1項5目
防災広報費
(総務課)

洪水浸水想定区域等の情報を更新した新たな防災マップを作成し、全世帯に配布します。



医療提供体制機能の確保・維持

○中核病院機能確保補助金 【42,869千円】

市の中核病院である雄勝中央病院に対し、補助金を交付することにより、円滑な医療提供体制の確保を図ります。

4款1項1目
地域医療確保対策事業
(健康対策課)

○救急医療対策運営費補助金 【79,266千円】 拡充

救急告示病院に対し、救急医療に要する経費の一部について補助金を交付することにより、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図ります。

補助金額を増額
56,275千円→79,266千円

○小児医療対策運営費補助金 【19,665千円】

小児医療を提供し、小児医療のための専用の病床を有する病院に対し、小児医療に要する経費の一部について補助金を交付することにより、小児二次医療を確保するとともに、良質で安定的な小児医療を継続して提供できる体制を確保し、小児医療の充実を図ります。

令和８年度湯沢市水道事業会計・下水道事業会計予算について

令和８年３月定例会に提出する水道事業会計・下水道事業会計予算（案）の概要については、次のとおりです。

１ 水道事業会計

（１）業務の予定量

項 目	令和８年度 予 定	令和７年度 当 初 予 定	比 較	
			増 減	増減率
① 給 水 戸 数	14,699 戸	14,780 戸	△81 戸	△0.55%
② 年間総給水量	3,479,180 m ³	3,506,190 m ³	△27,010 m ³	△0.77%
③ 一 日 平 均 給 水 量	9,532 m ³	9,606 m ³	△74 m ³	△0.77%

（２）予定額

（消費税及び地方消費税を含む）

項 目	令和８年度 予 定 額	令和７年度 当初予定額	比 較	
			増減額	増減率
① 水道事業収益	1,305,711 千円	1,251,771 千円	53,940 千円	4.31%
② 水道事業費用	1,254,161 千円	1,172,888 千円	81,273 千円	6.93%
③ 資本的収入	994,907 千円	745,424 千円	249,483 千円	33.47%
④ 資本的支出	1,363,217 千円	1,134,712 千円	228,505 千円	20.14%
うち主要な建設 改 良 事 業	863,608 千円	599,711 千円	263,897 千円	44.00%

（３）予定純利益

本年度の予定純利益は、27,708千円（消費税及び地方消費税を除く）を見込みます。

（４）主要な事業

N0	件 名	内 容
①	遠方監視システム更新事業 （継続費 令和８年度～ 令和10年度）	水道施設の異常発生時に迅速な情報把握 を可能とする遠方監視システムの整備を 図る。 ・水道施設遠方監視システム再構築業務

②	<p>稲川上水道 非常用発電装置整備事業 (継続費 令和7年度～ 令和8年度)</p>	<p>長時間の停電による大規模な断水を防ぐため非常用発電装置を整備し施設の強靱化を図る。 ・設備棟建築工事、施設改修工事</p>
③	<p>湯沢上水道 関口第1配水池更新整備事業</p>	<p>関口第1配水池の耐震化を実施し災害に強い給水体制の構築を図る。 ・接続道路用地購入費、用地補償費</p>
④	<p>老朽化更新事業(施設・管路)</p>	<p>更新時期を迎える施設及び管路の耐震化を実施し水道施設の強靱化を図る。 ・配水管布設替工事(国道13号杉沢工区) ほか9件 L=1,456.8m</p>

2 下水道事業会計

(1) 業務の予定量

項 目	令和8年度 予 定	令和7年度 当 初 予 定	比 較	
			増 減	増減率
① 水洗化人口	18,073 人	18,393 人	△320 人	△1.74%
② 年間有収水量	1,814,329 m ³	1,846,958 m ³	△32,629 m ³	△1.77%
③ 一日平均 有 収 水 量	4,971 m ³	5,060 m ³	△89 m ³	△1.76%

(2) 予定額

(消費税及び地方消費税を含む)

項 目	令和8年度 予 定 額	令和7年度 当初予定額	比 較	
			増減額	増減率
① 下水道事業 収 益	1,610,265 千円	1,653,515 千円	△43,250 千円	△2.62%
② 下水道事業 費 用	1,586,017 千円	1,622,831 千円	△36,814 千円	△2.27%
③ 資 本 的 収 入	500,150 千円	642,347 千円	△142,197 千円	△22.14%
④ 資 本 的 支 出	878,508 千円	1,050,473 千円	△171,965 千円	△16.37%
うち主要な建設 改 良 事 業	84,519 千円	212,244 千円	△127,725 千円	△60.18%

(3) 予定純利益

本年度の予定純利益は、35,136千円（消費税及び地方消費税を除く）を見込みます。

(4) 主要な事業

NO	件 名	内 容
①	曝気装置分解点検整備業務	効率的な運転維持と故障リスクの低減、処理水質の安定化を図るため、曝気装置の分解点検を実施する。 ・湯沢浄化センター（2基）ほか
②	耐震化計画策定業務	災害に強く持続可能な上下水道システムの構築を図るため、急所施設の耐震化計画を策定する。 ・湯沢浄化センター耐震化計画の策定 1式
③	管路施設調査業務	上下水道システムの急所施設や避難所等の重要施設に接続する管路等の点検を実施する。 ・管口カメラ点検工 525箇所ほか

令和8年度（2026年度） 湯沢市上下水道事業会計当初予算案 概要

湯沢市建設部上下水道課



目 次

1. 予算編成の基本的な考え方
2. 水道事業の主要な事業
3. 下水道事業の主要な事業

1. 予算編成の基本的な考え方

1. 基本方針

上下水道は、市民生活や経済活動を支えるとともに、公共水域の水質保全を担うなど、日常生活に欠かせない重要な社会基盤ですが、人口減少に伴う料金収入の減少や、施設の老朽化に伴う更新需要の増大などにより、今後も厳しい経営環境の下での運営が見込まれています。

こうした状況を踏まえ、将来にわたり安定したサービスを提供できる持続可能な経営を確保するため、施設更新計画の着実な推進や官民連携の活用などを通じた業務の効率化を進めることとし、そのために必要な経費を計上した令和8年度当初予算案を取りまとめました。

2. 重点的な取組み

共通事項

◆経営最適化については、経営戦略を踏まえて、計画的かつ優先順位を明確にし、業務改善を行います。

水道

◆水道ビジョンで掲げた基本理念「未来へつなぐ安心安全な湯沢のおいしい水道水」の実現に向けて、災害に強い水道施設の整備を計画的に実施します。

下水道

◆下水道ビジョンで掲げた基本理念「未来へつなぐ湯沢のきれいな水環境」の実現に向けて下水道施設の長寿命化と耐震化を図るため、戦略的な維持管理を実施します。



2. 水道事業の主な内容

事業の概要

① 遠方監視システム更新事業 (継続費令和8年度～令和10年度)

迅速な情報把握を可能とする監視システムを整備します。

- ・水道施設遠方監視システム再構築業務

② 稲川上水道非常用発電装置整備事業 (継続費令和7年度～令和8年度)

停電による大規模な断水を防ぐため非常用発電装置を整備します。

- ・設備棟建築工事
- ・施設改修工事

③ 湯沢上水道関口第1配水池更新整備事業

災害に強い給水体制を構築するため急所施設の更新を実施します。

- ・接続道路用地購入
- ・用地補償

④ 老朽化更新事業 (施設・管路)

更新時期を迎える施設及び管路の耐震化を実施します。

- ・配水管布設替工事
(国道13号杉沢工区) ほか9件
L=1,456.8m



遠方監視システム



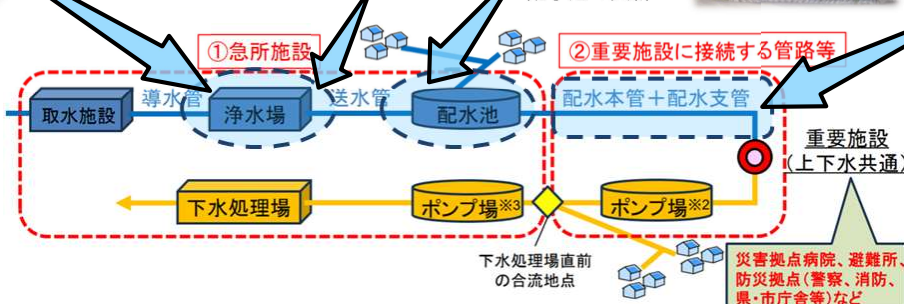
非常用発電装置



配水池の更新



老朽管の更新



3. 下水道事業の主要な事業

事業の概要

① 曝気装置分解点検整備業務

効率的な運転維持と故障リスクの低減、処理水質の安定化を図るため、曝気装置の分解点検を実施します。

- ・曝気装置の分解点検整備
- ・湯沢浄化センター（2基）ほか

② 耐震化計画策定業務

災害に強く持続可能な上下水道システムの構築を図るため、急所施設の耐震化計画を策定します。

- ・湯沢浄化センター耐震化計画の策定

③ 管路施設調査業務

上下水道システムの急所施設や避難所等の重要施設に接続する管路等の点検を実施します。

- ・管口カメラ点検工 525箇所
- ・テレビカメラ調査 900m ほか

曝気装置分解点検整備

